

『学童一期』評価表のまとめと改善目標

1. 工夫している点

職員のチーム力が強く、緊急時などを含めて柔軟に素早い対応ができています。一人ひとりの子供の状態を理解し、職場全体で共有している。また利用時間は見守りだけでなく、活動内容を明確(調理体験・制作・外食体験等)にして一日の流れ全体について健康・安全面を含めて把握できるようにしている。これにより保護者が安心して預けられる体制を整えるように日々研鑽している。昨年よりも保護者との連絡が密になり、信頼関係が増したと感じる。

2. 改善目標

利用定員に比べて施設が手狭であり、活動の工夫だけでは限界がある。子供の受け渡しに関して(送迎予定時刻の遅れや体調不良時の受け入れなど)どのように対処すべきかなど細かい点で保護者と共通理解が不十分なところがある。保護者にご協力いただきたい事

また施設側から見て保護者に家庭でやっていただきたいことと、保護者側から施設に要求したい点や改善点が散見していると思われる。これらを互いにわだかまりとせず、面談回数を増やすなどして共通理解の基に子供たちの成長を促す必要がある。したがって、以下の点を改善目標とする。

《児童数削減に伴う活動内容の更なる充実》
**《面談回数を増やすなどにより保護者と
より一層の共通理解を図る》**